

70周年記念 日本のうたごえ祭典 「障害者と その仲間のステージ」 協力をお願い

暑さも本格的な季節を迎えましたが、益々ご清祥のことと存じ上げます。
戦後間もない1948年、声楽家・関鑑子と、情熱あふれる若者たちによって始まった「日本のうたごえ運動」は、2018年2月に創立70周年を迎えました。70年にわたる皆様よりのご支援、ご協力に心からお礼を申し上げます。

この記念の節目に、「70周年記念 日本のうたごえ祭典」を、2019年1月19日(土)「川崎市とどろきアリーナ(5000席)」をメインとし、3日間の日程で開催いたします。

1月19日(土)のメイン企画は、「Human Festa～いのちをうたおう」「Peace Festa～こころをつなごう」と題して、2回のフェスタを開催する予定であります。そして、「Human Festa～いのちをうたおう」では、「障害者と その仲間のステージ」として、これまでにない500人規模のステージを目指して準備を進めています。

うたごえ運動では、1978年から、日本のうたごえ祭典の中で「障害者のステージ」を取り組み、今年は40周年を迎えます。障害者権利条約が活かされる社会づくり、そして「やまゆり園事件」に見られる「優生思想」を許さない闘いを共に広げていくためにも、このステージをなんとしても成功させたいと思っています。

つきましては、祭典開催に向けた準備や、企画の具体化につきまして、下記の通りご協力をお願いする次第です。

- ・ステージと一緒に歌って参加する仲間の組織にご協力ください。
- ・参加者の費用負担軽減、またステージ準備経費のため、カンパにご協力ください。(団体1口3,000円 個人1口500円)

【郵便口座】00130-4-363705 【口座名】障害者と その仲間のステージ準備会

- ・「障害者と その仲間のステージ」準備会議に代表者を送り出して下さい。

以上につきまして、ぜひ前向きにご検討をよろしくお願いいたします。

「障害者と その仲間のステージ」準備会議
呼びかけ団体:70周年記念日本のうたごえ祭典実行委員会
きょうされん東京支部/東京のうたごえ協議会

呼びかけ人 青柳浩二(きょうされん東京支部会長)/大熊 啓(祭典企画委員長・東京のうたごえ協議会事務局長)/片山敦司(社会福祉法人あけぼの福祉会職員)/小林 光(元あさやけ合唱団指揮者)/小室 径(福祉保育労東京地本副執行委員長)/佐田光三郎(障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会事務局長)/藤井克徳(きょうされん専務理事)/矢口 直(全教障教部事務局・都障教組)横川 昭(東部のうたごえ協議会会長)

※50音順